

貧酸素水塊速報 (2020年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○(国)国立環境研究所
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和2年8月11日観測結果

内湾南部の広い範囲で貧酸素水塊が確認されました(図1)。
 川崎人工島付近では、貧酸素水塊の厚みが約20mに達しており、
 溶存酸素量0.5mL/L以下の無酸素水塊の厚みも約8mあります(図2)。

水温は表層26~27℃、底層16~26℃です。

※内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方は
 お疲れ様でした。本日は強風のため、一部欠測となっています。

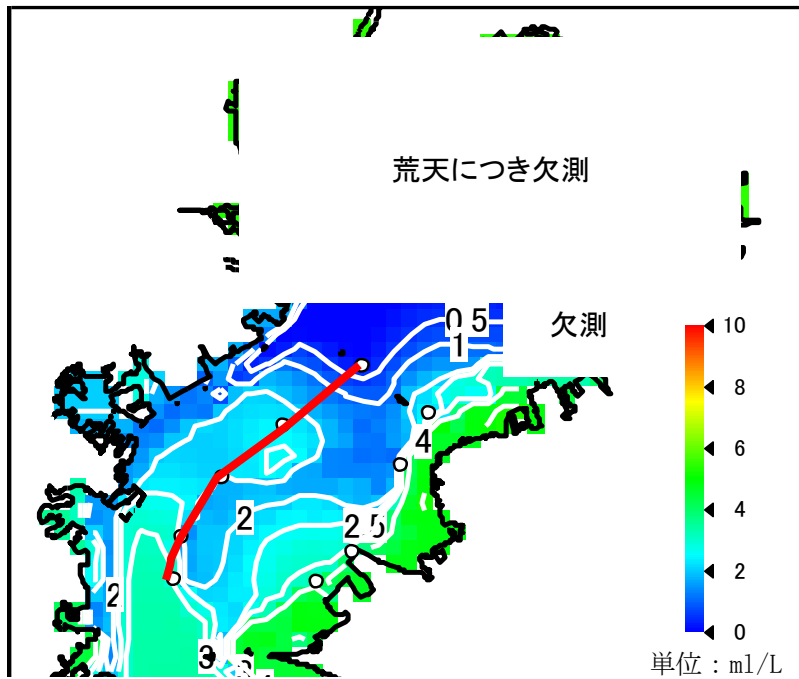


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

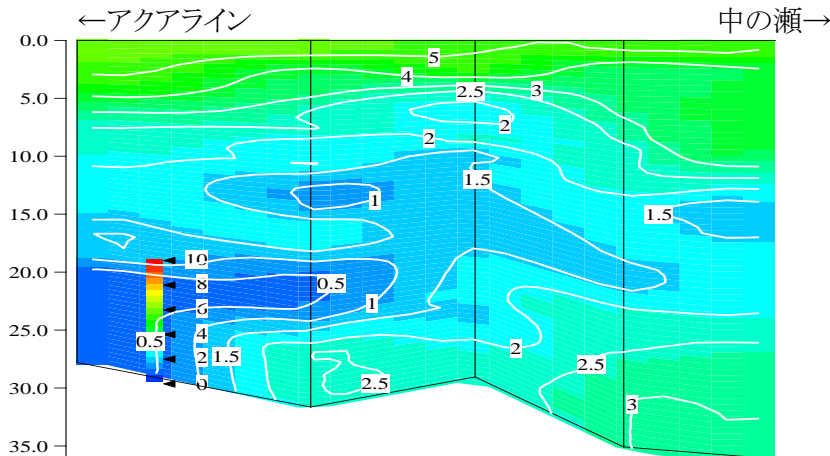


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布